Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

# The Evaluation of the Early and Late Postoperative Pancreatic Function and Nutritional Status: Central Pancreatectomy Versus Distal Pancreatectomy



| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2019-02-08<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 出雲, 渉<br>メールアドレス:<br>所属: |
|---|---|
| URL | https://doi.org/10.20780/00032093 |

# 主 論 文 の 要 旨

The Evaluation of the Early and Late Postoperative Pancreatic Function and Nutritional Status: Central Pancreatectomy Versus Distal Pancreatectomy

短期的・長期的な術後膵機能と栄養状態の評価：膵中央切除術と尾側膵切除術の比較

東京女子医科大学消化器外科学教室
（指導：山本　雅一教授）
出雲　渉

International Journal of Surgery Research and Practice, Volume 4, Issue 3, 2017 に掲載

【要　旨】

膵切除術による術後の膵機能・栄養状態の低下は以前より指摘されており、一部の膵腫瘍に対しては術後の膵機能温存を企図して膵中央切除術(Central pancreatectomy:CP)が選択されることがあるが、CP の膵機能温存に対する短期的・長期的な意義は未だ明らかとなっていない。CP 後の膵機能・栄養状態について経時的に評価し、尾側膵切除術(Distal pancreatectomy:DP)と比較し安全性と有効性を検討した。2005 年 1 月～2015 年 12 月までに当教室で施行し各種評価項目が確認可能であった CP 群 24 例と DP 群 91 例を対象とし、術前、術後 6 ヵ月、術後 12 ヵ月、術後 36 ヵ月、術後 60 ヵ月の体重、血中 Albumin(Alb), 血中 hemoglobin A1c(HbA1c),脂肪肝の発症数、膵消化酵素補充の必要数、糖尿病新規発症数、術後の膵液漏(ISGPF:Grade B+C)の頻度について retrospective に検討した。CP 群では全期間を通じて術後の HbA1c の増悪、新規脂肪肝発症、新規糖尿病発症は認めず、DP 群に比較し有意に少なかった。体重、血中 Alb も低下を認めず、膵消化酵素補充の必要数も少なかった。また、術後の膵液漏も有意差を認めなかった。CP 群は短期的にも長期的にも膵機能・栄養状態が温存される有効な術式で、DP 群と比較しても安全性は同等であり特に膵機能温存で有意義な術式であることが証明された。